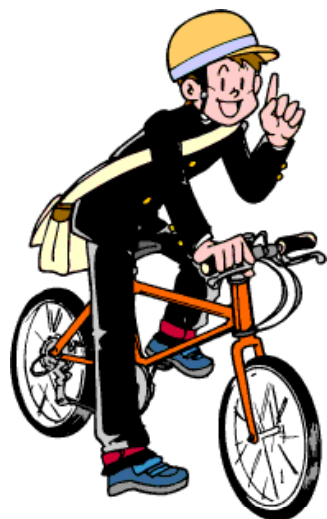


交通安全教室

＝ 自轉車・歩行者編 ＝



交通安全教育報告書

取組名	交通安全教室	分類	交通安全教室
取組の特徴	座学と共に簡単な体験実技を含めた交通安全講話		
学校名	大分県立高田高等学校		
取組の概要			
<p>1 日時：平成25年10月2日（水） 15：00～15：50</p> <p>2 場所：大分県立高田高等学校 体育館</p> <p>3 対象：全校生徒（約480名）</p> <p>4 目的：自転車利用者の「ルール、マナー、特性、相手を思いやる心」を学ぶと共に 交通社会人としての自覚と責任を持つ</p> <p>5 活動内容</p> <p>①豊後高田警察署交通課長講話（15分） ※パワーポイント使用</p> <p>②本田技研工業（株）安全運転普及本部 熊本普及 BL による交通安全教室</p> <p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルール、マナーについて ・自転車安全利用五則 ・自転車交通違反の罰則 ・交通事故に遭遇したとき取るべき行動 <p>【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徐行運転（歩道通行時の基本） ※通常走行（10～12km/h）と徐行走行（5~6km/h）の違いを体感する ・基本運転（歩行者の気持ち） ※歩行者に見立てた生徒を数名立たせ、その横を後ろから通常走行と徐行走行で通過し、体感した感想を述べる ・危険運転と運転の仕組み（危険性の確認） ※音楽プレイヤーを操作しながら走行（片手運転） ※音楽プレイヤーで音楽を聴きながら走行（呼びかけに反応できるかの実験） <p>6 効果</p> <p>座学でルールやマナー、罰則等を学ぶだけでなく、生徒自身に危険運転や歩行者としての気持ちを体験させることにより、リアルに危険性を認知することができた。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	自転車安全検査および自転車通学生安全 運転講習会	分類	交通安全教室
取組の特徴	生徒自身が行う通学用自転車の自己点検活動ならびに自動車学校、警察署と連携した自転車安全運転講習会の実施		
学校名	大分県立別府羽室台高等学校		

取組の概要

1. 目的

高校生の自転車乗車中の交通事故が、多く発生していることや、交通社会人の一員として、交通ルールの遵守やマナーアップを図り、道路及び交通の状況に応じて、安全に走行できるようにする。

2. 日時

平成25年5月22日水曜日 13:30～15:10
(1学期中間考査1日目)

3. 対象者

自転車通学生全員 (登録人数 約100名)

4. 場所

亀の井自動車学校 (別府)



5. 講習内容

実技を中心とした、体験講習

- 1 ケーススタディ
- 2 実技① 自転車の危険性
- 3 実技② 自転車のバランス

※自転車検査については上記講習会の2週間前に実施し、ハンドルの形状やブレーキ等の効き具合等の検査を行い、全員合格した上で、自動車学校での上記講習会へ参加させる。



6. 効果

安全運転講習会を実施する前段階で自転車車体検査を実施し、自転車の改造や点検不良をチェックさせることにより、安易な自転車の使用を戒め、安全管理について考えさせる機会となっている。

自動車学校で開催される交通安全講習会では、別府署、亀の井自動車学校の協力の下、敷地の自動車コースを活用して危険運転や視界の悪い場所での危険回避行動等のシュミレーションを実施することにより、安全意識の向上につなげることができた。

交通安全教育報告書

取組名	交通安全教室	分類	交通安全教室
取組の特徴	1年生全員を対象に、大分自動車学校と連携した交通安全教室		
学校名	大分県立大分上野丘高等学校		

取組の概要

1年生全員を対象に、5月28日(火)(4クラス)・30日(木)(4クラス)の両日に、大分自動車学校の協力を得て、大分自動車学校において交通安全教室を実施した。

- 日程 5時間目終了後、大分自動車学校へ移動
 14:45～ 開講式
 14:50～ ①講義
 ②自転車シミュレーターによる実技
 ③よくある自転車交通事故の実演 その1
 ④よくある自転車交通事故の実演 その2
 16:30～ 閉講式

内容

- (1) 講義 交通法規と罰則
 自転車交通事故による損害賠償
 車の死角
 よくある交通事故
- (2) 自転車シミュレーターによる実技
 今年度新たにプログラムに組み込まれたもので、生徒は運転の難しさと、危険回避の難しさに驚いていた。
- (3) よくある事故の実演
 その1 携帯電話を操作しながら、右側通行をしている自転車と、側道から出てきた自動車との衝突
 その2 並進している自転車を避けようとした自動車どうしの衝突の危険性



自転車シミュレーター



講義

交通安全教育報告書

取組名	1 学年交通安全講話	分類	交通安全教室
取組の特徴	自転車通学をする1年生を対象の早急な交通安全啓発		
学校名	大分県立大分舞鶴高等学校		
取組の概要			
<p>1 目的 1 昨年15件、昨年度12件、本校自転車通学生の交通事故が報告されており、昨年1学年では5月に連続して起こっている。また、地域住民から自転車の交通マナーに関する苦情が寄せられている。 こうした状況のもと、1学年生徒に対して早急に交通安全教育を実施し、生徒の交通ルール・マナーの遵守を図り、交通安全の意識をさらに高め、登下校を含めた日常生活全てにわたり、交通事故を起こさず、遭わない、心構えを醸成する。</p> <p>2 対象 1 学年生徒、1 学年教職員</p> <p>3 期日 平成25年 4月26日(金) 7限 (14:45～15:30)</p> <p>4 場所 本校体育館</p> <p>5 講演内容 (1) DVD映写 「安全な通学を考える」～加害者にもならない～ 企画 文部科学省 ① 自分の乗り方は安全か？ ② 危険を予測する力をつける！ ③ 気持ちを意識してみよう</p> (2) 平成23・24年度本校自転車交通事故発生状況 <p>終了後、感想文</p> <p>6 講師 生徒指導主任</p>			

交通安全教育報告書

取組名	自転車交通安全教室（1年生対象）	分類	交通安全教室
取組の特徴	自転車マナー（交通法規）と交通事故模擬体験、自転車整備の方法		
学校名	大分県立鶴崎工業高等学校		

取組の概要

- 1 日時 平成25年5月9日（木）13:10～15:20 大分東自動車学校
- 2 ねらい
 - 交通法規を学ぶことにより、自転車も車両であり被害者、加害者の両方になりうることを理解させる。
 - 自転車運転の危険性を体験させることにより、交通事故を未然に防ぎ、法令遵守の精神を育てる。
 - 自転車整備を学ぶことによって、自転車運転の安全性を確保する。
- 3 活動内容
 - 自転車マナーについて（交通法規）
 - 交通事故模擬体験
 - 自転車整備の方法
- 4 成果

生徒体験型の教室であり、交通事故模擬体験や交通法規を学ぶことによって、交通事故の恐ろしさや未然に防ぐためにどう対処しなければならないのか、また、交通法規について理解を深めることができた。



交通安全教育報告書

取組名	事故再現スタントによる生徒向け自転車教室	分類	交通安全教室
取組の特徴	交通マナー（交通法規）を様々な事故再現スタントにより体験		
学校名	大分県立鶴崎工業高等学校		

取組の概要

- 1 平成25年10月24日（木）13：20～ 本校体育館
- 2 ねらい
○交通事故再現スタントにより、実際どのような場面で事故が発生するかを体験することにより、交通事故を未然に防ぎ法令の遵守の精神を育てる。
- 3 活動内容
 - ・事故再現スタント
 - 1 悪い自転車の乗り方
 - 2 歩行者優先道路の事故（自転車×歩行者）
 - 3 見通しの悪い交差点での事故（自転車×自転車）
 - 4 制動距離の実験（自転車）
 - 5 点字ブロックへの違法駐輪（自転車×歩行者）
 - 6 自転車のルール違反重複による事故（自転車×人）
 - 7 夜間の無灯火 正面衝突（自転車×自転車）
- 4 成果
実際の事故がどのような場面で多く発生しているか知ることにより、未然に防ぐために各自が何を遵守しなければならないのかを学ぶことができた。雨天のため、自動車事故との絡みを体験することができず少し残念であった。



交通安全教育報告書

取組名	自転車マナーアップの規範意識の醸成活動	分類	交通安全教室
取組の特徴	自転車事故の再現及びシミュレーターによる交通啓発活動		
学校名	大分県立情報科学高等学校		

取組の概要

1 ねらい

自転車交通安全教室を実施し、交通安全教室を実施し交通ルールの周知・マナーアップの啓発を図るとともに、自転車の安全利用および地域における駐輪場の適正利用の呼びかけや整備を積極的に行うことにより、社会の一員としての自覚を持たせ交通事故の抑止を図ることを目的とする。

2 方法

○大分東自動車学校による交通安全教室の実施

日時 10月30日（水）4限目（11:45～12:35）


対象 全校生徒及び全職員

場所 体育館

- 内容
- ① 「安全な自転車のルール」のビデオ視聴
 - ② 県内外における自転車事故の現状及び道路交通法の改正
 - ③ 自転車を実際に運転し、事故の再現をおこなう
 - ④ 自転車のシミュレーターによる体験



交通安全教育報告書

取組名	HONDA 交通安全教室	分類	交通安全教室
取組の特徴	生徒主体による交通安全教育の実践		
学校名	大分県立津久見高等学校海洋科学学校		
取組の概要			
1. 日時	平成25年11月5日(火) 13:25～15:10		
2. 内容	<p>座学の中に簡単な体験実技を入れた教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ルール・マナー ②自転車安全利用五則 ③運転の仕組み(「認知・判断・操作」) ④自転車交通違反の罰則 ⑤交通事故に遭遇したとき(とるべき行動) ⑥徐行運転(実技・歩道通行時の基本) ⑦基本運転(実技・歩行者の気持ち) ⑧危険運転と運転の仕組み(実技・危険性の確認) <p>※生徒5～6名に実技を行なってもらう。(交通委員)</p>		
3. 指導者	<p>本田技研工業(株)安全運転熊本普及ブロックより2名 大分県臼杵津久見警察署 交通係長</p>		
4. 効果	<p>これまで本校では、年に1回程度自動車学校の協力で自転車の交通安全教室を実施してきた。今年度はそれに加え本田技研工業(株)の協力で全校生徒を対象とした交通安全教室を実施することができた。</p> <p>教室の内容も生徒に問いかけ考えさせることが多く、また、簡単な実技指導を加えていただき生徒も集中して話を聞くことができた。</p>		
			

交通安全教育報告書

取組名	平成25年度中津北高等学校交通安全教育	分類	交通安全教室
取組の特徴	本田技研工業交通安全普及本部の方による自転車のルール、マナー・安全運転・もしもの時の対処法・実技体験の講習を受けることにより、自転車の「ルール、マナー、特性、相手を思いやる心」を学ぶ。		
学校名	大分県立中津北高等学校		
取組の概要			
<p>1 日時 ○平成26年1月10日（金）7限目 14:55～15:45</p> <p>2 ねらい ○全校生徒を対象とした自転車交通安全教育を実施することにより、自転車の「ルール、マナー、特性、相手を思いやる心」を学ばせる。</p> <p>3 活動内容 ○本田技研工業交通安全普及本部の講師による講演と実技体験。</p> <p>4 効果 ○講演だけでなく、実技体験をすることで自転車の危険性をより身近に理解できる。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	交通安全教室	分類	交通安全教室
取組の特徴	本田技研工業（株）安全運転普及部の方による自転車の交通安全教育		
学校名	大分県立宇佐産業科学高等学校		

取組の概要

1. 目的

交通社会人の第一歩となる高校生に対する交通安全教育を通じて、交通ルールや社会のルールが遵守でき、人の痛みや思いやりを感じられる豊かな人間性と、生徒主体による活動を通じて、自立心を育むとともに、高校生の交通事故削減を目指す

2. 日時

平成25年 10月23日（水） 4・5・6限に学年ごとに実施
4限・・・2年 5限・・・1年 6限・・・3年

3. 場所

体育館

4. 内容

自転車の交通ルール、交通マナーについての座学と実技
パワーポイントを使用しての自転車の交通ルールやマナーについての 講義を行いながら、代表生徒による自転車の体験実技を実施。

《講義内容》

- ルール・マナー
- 自転車安全利用五則
- 運転の仕組み「認知・判断・操作」
- 自転車交通違反の罰則
- 交通事故に遭遇したときの行動

《体験実技内容》

- 徐行運転
- 基本運転
- 危険運転と運転の仕組み

5. 協力

H o n d a 熊本製作所 ， 大分県宇佐警察交通課



交通安全教育報告書

取組名	自転車通学生を対象にした自転車安全講習の実施	分類	交通安全教室
取組の特徴	亀の井自動車学校別府校に協力を頂き、実際に校内のコースを利用させて頂いての実技講習と、教室での講義・テストを実施		
学校名	別府溝部学園高等学校		
取組の概要			
<p>1 目的</p> <p>本校の自転車通学生に対して、交通事故の未然防止を目的に、亀の井自動車学校のご協力のもと、より専門的な見地からご指導を頂く。それにより、事故をしない・させない行動を身につけてほしい。</p> <p>2 日時</p> <p>平成25年7月2日(火)13時00分開始 (期末考査の最終日に開催。講習は、実技・講義含め、2時間程度であった。)</p> <p>3 場所</p> <p>亀の井自動車学校 別府校 *毎年、亀の井自動車学校様の多大なるご協力のもと開催ができています。</p> <p>4 参加人数</p> <p>30名前後 *自転車通学をしており、当日も自転車で登校する生徒が対象。</p> <p>5 引率者</p> <p>生徒指導部の教員2名で引率。</p> <p>6 事前学習について</p> <p>今回は、講習会前、自動車学校と協力して作成したプリントを、校内で生徒に事前に解答させました。 そして、講習会当日に試験を実施し、指導員の先生から解説を頂きました。</p>			

高等学校交通安全教育報告書

取組名	交通安全教室	分類	交通安全教室
取組の特徴	中津警察署交通課との協力による全校生徒への講話および生徒指導部による交通安全意識の向上啓発活動		
学校名	東九州龍谷高等学校		

取組の概要

1. ねらい

中津市内を中心に、自転車による接触事故が多発している状況を鑑み、交通安全に対する注意喚起を促し、危険予測・危険回避をする意識や能力を身に付けさせる。また、4月時には新入生の自転車通学が始まり自転車事故数が増加する傾向があるため、新入生には特別に時間を設け、自転車利用のマナーアップを指導する時間を持ち、安全な登下校ができるように援助する。

2. 方法

中津警察署交通課の協力による全校生徒への交通安全講話および自転車シミュレーター。

交通安全意識向上のための「生徒指導部だより」の発行。および、新入生に対して、本校生の自転車事故現場状況を活用した特別交通安全指導(入学時に実施)の中で具体的な危険予知について指導し注意喚起をする。

3. 講話内容

中津警察署職員による交通安全講話および、自転車シミュレーターによる訓練を行い、通学途中での通行方法などの問題点を指摘。また、DVDも活用しながら、「なぜ自転車事故に遭遇するのか」を考えさせながら、危険予測や回避の必要性を注意喚起している。



交通安全教育報告書

取組名	全校集会	分類	交通安全教室
取組の特徴	外部講師による講話及びシミュレーター		
学校名	大分国際情報高等学校		
取組の概要			
<p>1. 日時</p> <p style="margin-left: 20px;">平成25年7月18日</p> <p style="margin-left: 20px;">12時50分～14時20分</p> <p>2. ねらい</p> <p style="margin-left: 20px;">夏休みも近づき、通常とは異なる時間帯の自転車による移動等が多くなると思われるので、交通マナーや交通規則の再確認を含め、自転車等の安全性を確保する。</p> <p>3. 活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事例DVDを利用し、これに従い講話を行った。 ・歩道を渡るときのシミュレーション（歩いて）と自転車でのシミュレーションを行った。（それぞれのシミュレーションに多数の希望者が参加） ・教室に戻り、集会の感想を書いてもらい提出した。 <p>4. 効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全生徒が集中して参加し、交通安全に対する考え方がより強まった。 ・夏休みは自転車による事故等の報告はなかった。 			

交通安全教育報告書

取組名	自転車安全教室	分類	交通安全教室
取組の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・日田自動車学校から講師を招き、自転車交通ルールの再確認 ・シミュレーター体験 		
学校名	藤蔭高等学校		

取組の概要

1. 日時

4月24日（水） 14:10～14:55

2. 目的

- 登下校時の危険を認識し、回避する意識を養う。交通事故への考えと交通ルール・マナーの遵守の大切さを理解させ、規範意識の向上を図り、交通事故防止へとつなげる。
- 安全な自転車の運転と交通安全意識の向上を図る。

3. 講師

日田自動車学校 副管理者・総務部長 佐藤 豊和 氏 他2名

4. 講話内容

- 自転車の交通ルール
- 自転車事故の現状
- 自転車シミュレーター体験

5. 実施後の状況

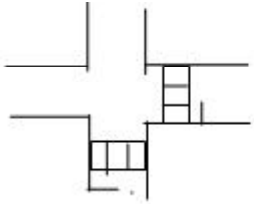
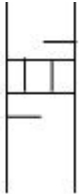
傘さし運転やイヤホンをつけながら運転をする実体験をすることで、危険に対する意識が高まった。交通ルールやマナーなど交通安全に対する意識の高まりがみられた



交通安全教育報告書

取組名	交通安全教室	分類	交通安全教室
取組の特徴	小学部・中学部・高等部と年齢等が大きく異なる児童生徒を一緒に行う		
学校名	大分県立宇佐支援学校		
取組の概要			
<p>1. 日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間1回、6月実施 ・実施時間は、9：55～11：25 <p>2. ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横断歩道の渡り方、信号の見方、対面通行など、正しい交通ルールを学び、安全に留意して登下校することができるようになる。 ・交通安全のルールを知ることができ、交通事故を回避する態度を身につけることができる。 <p>3. 外部講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇佐交通安全協会、宇佐市役所交通安全係、(宇佐警察署交通課) <p>4. 活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドに信号のある交差点をつくり、実際に信号に従って横断する練習を行う。 ・交通安全関係のビデオ上映、講師による腹話術での講話。 ・自転車整備点検の箇所ややり方を学ぶ。 			

交通安全教育報告書

取組名	交通安全教室	分類	交通安全教室																				
取組の特徴	警察職員による横断歩道での渡り方の実技指導（補講・自転車）																						
学校名	大分県立中津支援学校																						
取組の概要																							
<p>1 日時</p> <p>○5月10日（金）</p> <p>○実施時間は、9時40分～11時15分</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">9時40分</td> <td>ビデオ</td> <td>小プレイルーム集合（小）</td> <td style="text-align: right;">（20分）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>講 話</td> <td>中プレイルーム（中）（高）</td> <td style="text-align: right;">（20分）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">10時05分</td> <td>体育館集合</td> <td>実技指導</td> <td style="text-align: right;">（40分）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">10時45分</td> <td>講 評</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">10時50分</td> <td>自転車通学生の指導（グラウンド）</td> <td></td> <td style="text-align: right;">（20分）</td> </tr> </table> <p>2 ねらい</p> <p>○交通安全のルールを知ることで、交通事故を回避する態度を身につけることができる。</p> <p>○横断歩道の渡り方、信号の見方、対面交通など、正しい交通ルールを学び、安全に留意して横断できる。</p> <p>3 活動内容</p> <p>○3学部（小学部・中学部・高等部）に分かれ、警察職員の方による交通ルール指導を受け、2パターンの模擬交差点により、正しい横断歩道の渡り方を学ぶ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>信号機ありの交差点</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>◇信号機なしの交差点</p>  </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・全体説明を受けたあと、実技指導を受ける。 ・全員が歩行者になり、渡り方などの練習をする。 				9時40分	ビデオ	小プレイルーム集合（小）	（20分）		講 話	中プレイルーム（中）（高）	（20分）	10時05分	体育館集合	実技指導	（40分）	10時45分	講 評			10時50分	自転車通学生の指導（グラウンド）		（20分）
9時40分	ビデオ	小プレイルーム集合（小）	（20分）																				
	講 話	中プレイルーム（中）（高）	（20分）																				
10時05分	体育館集合	実技指導	（40分）																				
10時45分	講 評																						
10時50分	自転車通学生の指導（グラウンド）		（20分）																				

交通安全教育報告書

取組名	全校児童生徒に対する交通安全指導	分類	交通安全教室
取組の特徴	外部指導者による交通安全啓発活動		
学校名	大分県立由布支援学校		
取組の概要			
<p>1. 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交通指導員の話の聞いたり、ビデオを見たりして交通安全に対する意識を持つようにする。 ○実際に校外の路上に出て、道路の歩き方や信号機・横断歩道・踏切の渡り方の正しい方法を実施体験する。 <p>2. 日時</p> <p>平成25年4月13日（金）3～4時間目（10：35～12：10）</p> <p>3. 場所</p> <p>本校体育館、校外</p> <p>4. 指導者</p> <p>大分県交通安全協会 大分南支部指導員3名</p> <p>5. 日程</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体育館にて講話、ビデオ、模擬交差点補講指導 ○2コースに分かれて実際に校外に出て歩行練習する。 <ul style="list-style-type: none"> （長い距離コース）自分で安全を確認しながら歩くとともに、歩道や信号機のある・ない交差点の渡り方の練習をする。 （短い距離コース）教師と一緒に安全を確認しながら歩く。 			

交通安全教育報告書

取組名	交通安全教室開催による交通安全指導	分類	交通安全教室
取組の特徴	交通安全協会大分南支部との連携による年2回実施の交通安全教室		
学校名	大分県立新生支援学校		

取組の概要

1. 日時

(1回目) 平成25年6月5日(水) 9:35~11:30

(2回目) 平成25年10月10日(木) 9:35~11:30

2. ねらい

信号機の見方や横断歩道の渡り方、自転車の乗り方などを説明や実技を通して学ぶことで、交通安全の大切さを理解する。

3. 場所

体育館、プレイルーム、グラウンド、学校周辺

4. 内容

(1回目)

交通指導員から、腹話術の人形やボードを用いて交通マナーに関する説明があった。その後、交通事故防止のビデオを視聴した。雨天のため校外を歩行できなかったが、体育館に準備した模擬横断歩道を、交通ルールを守りながら教師や交通指導員と一緒に歩行した。

(2回目)

交通指導員から、交通事故での対処の仕方について、被害者と加害者の両方のケースで話があった。その後、歩行グループと自転車グループに分かれて学習をした。歩行グループは、信号を見ながら安全に注意して学校周辺を歩行した。自転車グループは、自転車の安全点検の仕方やサドルの調整の仕方の説明を受けた後、グラウンドのコースを模擬信号に従い、手信号を出しながら走行した。



交通安全教育報告書

取組名	自転車安全講習会	分類	交通安全教室
取組の特徴	自転車メンテナンスの指導		
学校名	大分県立大分支援学校		
取組の概要			
<p>1 日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ○毎年7月初旬 ○11:00～12:00 <p>2 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○通学路の危険箇所の認知と対処方法を理解する。 ○事故にあったときの対処方法を理解する。 ○自転車のメンテナンス方法を理解する。 <p>3 活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○通学路の危険箇所をみなで発表し合うことで再確認し、どのように自転車走行すべきか討議する。 ○事故にあったときの対応マニュアルを理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・警察を必ず呼ぶ。学校・保護者に事故の状況及び体の状態を連絡する。相手の連絡先を聞く。自転車を道路の端の方に寄せる等。 ○自転車のチェック箇所（ブレーキの効き、ライトの点灯、サドルの高さ、改造箇所）を確認しチェック方法を知る。また、チェーン部分に定期的にオイルをさし走行がスムーズかつ安全におこなえるように自転車の状態を整える。 <p>4 効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒自ら意見を出し合うことで、危険箇所を意識することができる。 ○事故がおこった場合もポイントを少なめに絞ることで混乱せず対応出来るようにした。 ○自転車のメンテナンス方法がわかり保護者と一緒に挑戦する生徒がいた。 			

交通安全教育報告書

取組名	交通安全教育	分類	交通安全教室
取組の特徴	スクールバスの乗車や自転車通学・公共交通機関利用時のマナーや安全に関する教育		
学校名	大分県立臼杵支援学校		
取組の概要			
1. 形態	1学期当初、小学部・中学部・高等部それぞれに於いて、児童生徒の障がいの実態に応じたスクールバス乗降の際の安全指導、自転車通学の注意点やバス・電車等の公共交通機関を利用する際の安全留意点等を個別又はグループごとに行っている。		
2. ねらい	<p>知的障がいのある生徒に道路を渡る時に気をつけることや安全に対する意識を高めさせる。</p> <p>スクールバスをはじめ、公共交通機関等でのルールを学び、卒業後の生活に役立てる。</p> <p>自転車通学の際に気をつけることを確認し、安全に対する意識の向上を図る。</p>		
3. 内容	<p>学期当初に実際に道路に出て信号を渡るときの留意点等を確認する。</p> <p>校外学習等の際に公共交通機関等でのマナーや安全教育を行う。</p>		

交通安全教育報告書

取組名	「交通安全教室Ⅰ」	分類	交通安全教室
取組の特徴	道路を歩くためのきまりや自転車の乗り方を知り交通ルールを守る		
学校名	大分県立佐伯支援学校		

取組の概要

1 日 時

- 平成25年4月26日（金）
- 9：40～10：25（2校時） 小・中学部児童生徒対象
- 10：35～11：20（3校時） 高等部生徒対象

2 ねらい

- 道路の歩行や自転車の乗り方についてDVD視聴したり講師の話を知り交通ルールを守ろうとする意識を持つ。

3 活動内容

- 年度始めにあたり、体育館に臨時的横断歩道をつくり、道路の歩き方、横断歩道の正しい歩き方、自転車の乗り方などについて講師（大分県生活環境部・交通安全教育講師）を招へいして学習した。
- 児童生徒が関心をもてるようにDVD視聴をした。
- 横断歩道の渡り方や自転車の正しい乗り方を実践したり、クイズ形式で質問したりして児童生徒に考えさせた。
- 高等部では、自転車の安全な乗り方に加えて、自転車に乗ることで被害者だけでなく加害者になる場合もあるという話を聞くことができた。

4 効果

- 小・中学部と高等部の2つに分けたことで発達段階に応じた授業を行うことができた。その後、学部ごとに校外学習や生活単元学習などでその都度指導してきたことで、より実践的な態度を育てることにつながった。
- 事故に遭ってしまった場合、「警察を呼んでください」と伝えることの大切さを児童生徒が学ぶことができた。



横断歩道の渡り方



横断歩道の渡り方



講師の先生の話

交通安全教育報告書

取組名	交通安全教室	分類	交通安全教室
取組の特徴	児童生徒の実態に応じ、3グループに分かれての実技訓練		
学校名	大分県立日田支援学校		
取組の概要			
<p>1 日時</p> <p>○平成25年4月25日（水）9:35～11:15</p> <p>○毎年、年度当初に安全教育の一環として行っている。</p> <p>2 ねらい</p> <p>○交通安全教室を通して交通法規を確認し、交通現場を想定した模擬道路で交通ルールを意識しながら実際の歩行や自転車等の運転を行い、実生活で活かせるようにする。</p> <p>☆ 基礎グループ 交通安全の基礎をじっくり学び、信号の認識や信号の見方、渡り方を知る。</p> <p>☆ 歩行・自転車グループ 信号の見方や、横断歩道の正しい渡り方、走行ルール（安全確認等）を、実技を通して理解する。</p> <p>3 活動内容</p> <p>○実態別のグループに分かれての交通安全教室</p> <p>A・基礎グループ …アニメ DVD 鑑賞、交通安全協会交通指導員からのお話 道路横断体験学習（室内での模擬横断歩道使用）</p> <p>B・歩行グループ …アニメ DVD 鑑賞、交通安全協会交通指導員からのお話 交通指導員による歩行、道路横断等の実技指導</p> <p>C・自転車グループ…交通指導員による自転車走行、道路横断等の実技指導 自転車マナーについての DVD 視聴、交通指導員による講話</p> <p>※B・Cグループの実技は、運動場の特設実技コースを使用</p> <p>4 効果</p> <p>児童生徒の実態や生活習慣に応じたグループ分けをし、歩行・自転車グループでは、グラウンドに設けた模擬道路を実際に歩行・走行しての指導が受けられた。自転車グループにおいては、乗車前点検についての指導もあった。実技に使用できる自転車の台数が増え、生徒たちは交代で乗車して指導を受けることができた。自転車通学生あるいは休日などに自転車を利用している生徒たちは、交通指導員の指導を熱心に聞き、模擬道路での実技に取り組んでいた。</p> <p>年度当初にこのような交通安全教室を実施することで、交通ルールを守ろうとしたり、交通安全に気をつけようとしたりする気持ちが芽生え、確認ができています。</p>			